

令和3年度 府立宮津天橋高等学校宮津学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

| 学校経営方針(中期経営目標) | 前年度の成果と課題 | 本年度学校経営の重点(短期経営目標) |
|--|--|--|
| <p>我が国や地域の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志を持つ人」を育成する。</p> | <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策について、校内外の各種事業・行事等を個別に検討し、実施の可否を含め全教職員体制で推進することができた。 全HR教室にプロジェクタが設置されたこともあり、教職員のICT機器活用による授業改善とその研究は急速に進んだ。 宮津高校の教育活動を引き継ぎつつ、宮津天橋高校宮津学舎の1期生を自覚しながら生徒・教職員とも各種の活動に取り組んだ。入学後すぐに臨時休業があったが、学年団を中心に細やかな指導を行い、落ち着いた生活と学びあえる集団を形成することができた。 各教科や総合的な探究の時間だけでなく、各種行事にも探究的な要素を取り入れ、さまざまな制限がある中でもその内容を充実させることができた。特に総合的な探究の時間の中で、SDGsを題材にグループで研究・発表を行い、次年度の課題研究の足がかりとなった。 部活動加入率は92%。インターハイ等多くの大会が中止となる中、ボート部の生徒が全国大会へ出場した。また、フィールド探究部の里山での活動や巨樹調査も評価され、日本森林学会大会で最優秀賞を受賞した。建築科の看板製作や小中連携事業の補助など特徴的な取組もあり、多方面で評価された。 第26回美術書道作品展は開催できなかったが、その代替として全選択生徒及び部活動の作品を掲載した作品集を制作することができ、好評を得た。 総合的な探究の時間、部活動、建築科の取組、ボランティア活動、学校行事などを通して、各種教育機関や諸団体との連携を深めることができた。 各種講演会を通して自己と他者の人権尊重について多面的に考えさせることができた。 P T A活動にも制約が多かったが、実施方法を模索し、一部を実現することができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位数が増加する2年次の総探をはじめとした教育活動が、生徒の進路選択を含めたキャリア形成により良い影響を与えられる取組となるよう検証と実践を繰り返す。 1年間を通して学習習慣は一定、定着してきたが、目標に対して主体的に取り組む力が弱く、目標に取り組む力、継続力、突破力を身につけさせる必要がある。 部活動は多くの大会が中止や規模縮小を余儀なくされ、ボランティア活動も制約が多く、貴重な成長の場が失われた。コロナ禍の中でもさまざまな対策を講じて活動の場を確保していかなければならない。 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動をさらに充実させるための校内体制の構築と家庭・地域との連携を一層推進する。 HPや広報誌、各種説明会等を通して情報発信に努めたが、生徒・家庭や地域社会に向けて本校の情報を的確かつタイムリーに発信していく方策について検討していかなければならない。 宮津高校2・3年生とは、部活動や学校行事などを通して一体感を高めることができた。一方、加悦谷高校・加悦谷学舎とは部活動の合同練習は夏以降にスタートしたが、その他の取組はコロナ禍により実現できなかった。 | <p>自立する個性を目指し、智力・人間性・体力が高度に調和した生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。 2 宮津高校全日制最終年にあたり、加悦谷高校との連携や宮津天橋高校への移行を円滑に推進するための取組を充実させる。 3 探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。 4 部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。 5 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。 6 家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 <p>○育てる人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主自律の精神を持って学び続ける人 ・個性や能力を伸ばし夢に挑戦する人 ・人や社会とつながり未来を創造する人 |

| 評価領域 | 重点目標 | 具体的方策 | 評価 | | | 成果と課題 |
|---------------|---|---|----|---|---|---|
| 学校経営 組織運営 | <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。 ○宮津高校全日制最終年にあたり、宮津天橋高校への移行や加悦谷高校との連携を円滑に推進するための取組を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の学力向上と教職員の授業改善・業務改善につながるICT機器の有効活用について、さらなる研究を推進する。 ○研修等を計画的に実施し、各種教育課題についての理解を深め、日々の教育活動に反映させる。 ○宮津高校全日制の閉制や宮津天橋高校への移行、加悦谷高校との連携等についてさまざまな課題を整理し、関係機関と協力しながら準備と取組を計画的に推進する。 | A | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○全教室に設置したプロジェクタをはじめとしたICT機器を有効活用した授業改善が全教科で進んだが、来年度からのBYODを見据え、教科内及び教科を超えた情報共有を一層円滑に推進する必要がある。 ○教育課程、ICT、人権、特別支援など、最近の教育課題に係る研修を実施し、知見を深めることができた。 ○各種課題に係る加悦谷学舎との協議を時宜に応じて関係者で開催し、各種準備等を概ね順調に進めることができた。 |
| 学習指導 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する | <ul style="list-style-type: none"> ○新学習指導要領の先行実施や大学入学共通テスト等に対応できる教育を推進するとともにその基盤となる学力を醸成する。 ○さまざまな探究活動で取り組んできた成果と課題も踏まえながら、それぞれの生徒の主体的な進路選択とその実現に向けての過程を組織的に支援する。 | B | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○知識の定着と考察する力の育成に注力し、それを活かして探究活動等を充実させるなど、必要とされる学力の充実を図った。 ○進路に係る個別面談・相談を充実させ、一人ひとりの希望進路を把握した上で、学年部と進路指導部が中心となって生徒の進路実現に係る取組を組織的に支援する体制を構築した。 |
| 生徒指導 特別活動 | <ul style="list-style-type: none"> ○部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え行動できる生徒の育成を念頭に置き、規範意識の向上に向けた取組を一層充実させる。 ○生徒が達成感と充実感を味わうことができる部活動やボランティア活動、学校行事等を運営する。 | B | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒は自らの自律的な行動により、校内外で全般に落ち着いた生活を送ることができた。 ○コロナ禍で文化祭など実施できない行事が一部あったが、各種制限下で活動を工夫して実現・実施し、生徒の達成感に繋げることができた。 |
| 健康安全 | <ul style="list-style-type: none"> ○命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。 | <ul style="list-style-type: none"> ○時宜に応じた面談や声かけ、家庭や関係機関との緊密な連携を図りながら思春期の心の揺れを受けとめ、関係者で情報を共有しながら対応できる体制を構築する。 ○新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を常に入手し、安心・安全な学校生活を送ることができるよう各種事業における対策を検討する。 | B | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○定期的な面談の他にも個別面談の機会を多く設けるとともに生徒が相談しやすい雰囲気醸成し、さまざまな指導に繋げることができた。 ○幾度かの感染拡大の波を経験する中で、その時々々の国・府・教育委員会の通知等に基づき、感染拡大防止と教育活動充実のバランスを図りながら学校運営を行った。 |
| 家庭・地域 社会連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ○各種説明会やHP等における本校教育に係る魅力発信や校内外への情報伝達について有効な手段・方法等の研究を推進する。 ○コロナ禍においてもキャリア教育の充実、家庭や地域の各種機関等との連携方法を模索し、幅広い学力と郷土愛の醸成に努める。 | C | B | B | <ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍によりPTA活動など校外の関係者が関わる取組が制限される中、各種情報発信の手段・方法等は進展したが、内容の充実には課題を残した。 ○探究活動、キャリア教育などで地域の関係機関との連携が一層進み、教育活動の充実と郷土愛の醸成に繋げることができた。 |

学校関係者
評価委員会
による評価

- ・授業を見学して、多くの先生がプロジェクターを活用しているのには驚いた。生徒の理解を深めるのに有効に活用してほしい。
- ・生徒はこれからもインターネットのある環境で生きていくので、フェイクニュースを見破ったり、SNS等を有効に活用していく資質を高校卒業までに育成してほしい。
- ・ICT機器の活用は保護者も注目するところなので頑張っていたいただきたいが、一方で教員の負担増になっていないかは気になるところである。比較的得意とする若手の先生とベテランの先生の関係が良好とのことなので、同僚性を発揮しながら研鑽を積んでほしい。
- ・コロナウイルス感染症のワクチンが希望する先生や生徒に速やかに接種できるような体制を整えてほしい。
- ・総合的な探究の時間の報告会はさまざまなテーマで発表があり、生徒の興味・関心を高めるとてもよい取組である。
- ・コロナ禍により、学校のさまざまな事業に影響が出ているが、実施された取組は生徒の活躍の様子がよくわかるものでたいへん良かった。また、ホームページでも建築科の校門アーチの取組が英語で紹介されており、とても良い取組であった。
- ・PTAのさまざまな取組が評価され、優良校として文部科学大臣表彰を受けたことは素晴らしいことである。ただ、文化祭でのPTA模擬店は保護者も生徒も楽しみにしているが、今年度も実施できなかったとのことである。PTA活動が制限される中、これまでの取組がうまく引き継がれるか心配である。
- ・昨今、全国的にはPTA活動への課題が取り上げられることがあるが、本校は保護者が楽しいと思って参加していることはたいへん素晴らしいことである。地域に愛される学校であり続けてほしい。
- ・今年度、体育祭は熱中症対策もあり、夕方から2日間かけて開催する予定だったが、やがては地域を巻き込むような取組にしてほしい。
- ・校舎の雨漏り等の施設・設備の改修は長年の課題であり、改修の要望をお願いしたい。
- ・学校がだんだんと小規模化してきており、地域の中で不安に思う保護者の声も聞こえてくる。不安を払拭するような取組やアナウンス等を積極的に行ってほしい。
- ・学校評価アンケートで指摘されたところは、改善できるところから取り組んでほしい。一方で、保護者からの学校への感謝も多く伝えられているということで、学校のさまざまな取組が評価されていることは良いことである。
- ・大学入学共通テストについて、丹後地域の生徒は京都市内の試験会場で受験しており、精神的・経済的な負担が大きい。丹後地域に試験会場を設置する要望の動きがあるようで注視している。
- ・学舎制が2年目となるが、合同部活動や遠隔授業などで一定の成果が上がっている。一層の連携を進めてほしい。
- ・新しい制服となり、学ラン・セーラー服の宮津高校スタイルがなくなるのはさみしいが、制服選考の際にPTA役員をしており、さわやかな制服になったと感じている。

| | |
|--------------------|---|
| <p>次年度への改善の方向性</p> | <p>【学校経営・組織運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次生のBYODや観点別評価、新学習指導要領への移行等について更なる研究を進め、全校体制で確かな学力の醸成に繋げる。 ・ 生徒の学習環境、教職員の職場環境の更なる改善を図る。 ・ 学舎制完成年度を迎えるにあたり、学舎間の諸課題を整理し、その解決・改善に努めるとともに学舎合同事業についての検討を継続し、一体感のある学校を構築していく。 <p>【学習指導・進路指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合的な探究の時間をはじめとした探究的な取組を一層充実させるため、生徒の主体的な学びに繋がる教職員の指導の在り方について研究を継続する。 ・ 一人ひとりの希望進路を把握した上で、時宜に応じた指導を一層組織的・計画的に行い、その実現を支援する。 <p>【生徒指導・特別活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度、中止とした文化祭や実施形態を変更した体育祭をはじめ、生徒が活躍する学校行事を成功させるため、関係部署で連携を図りながら計画的に準備を進める。 ・ 部活動やボランティア活動は生徒を成長させる貴重な場であるので、さまざまな対策を講じて活動を確保できるようにする。 <p>【健康安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命と人権の尊重を常に教育活動の根幹に据え、きめ細かい生徒観察や声かけなどを行い、相談しやすい雰囲気を醸成する。 ・ 新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を常に入手し、コロナ禍においても安心・安全かつ充実した学校生活を送ることができる対策を検討する。 <p>【家庭・地域社会連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部機関との連携の更なる拡充を図り、生徒の主体性を一層育み、成長に繋げていく。 ・ コロナ禍により、生徒の活躍を保護者を含む外部の方々に直接、見ていただく機会が少ない中、本校教育により関心を持っていただけるような積極的な情報発信を行う必要がある。 |
|--------------------|---|